

# 留学だより vol. 5

新年あけましておめでとうございます！ついに2025年スタートです！！皆さん、いかがお過ごしでしょうか～私は正月太りした分、元気です！元気が一番！

## ★イタリア流クリスマスの楽しみ方★

前回書きそびれたのですが、11月末からつい最近までウルグアイ人の女の子とルームシェアをしていました。イヴは特に予定がなかったので、ふたりでクリスマス映画をみてゆっくりして、クリスマス当日はお昼から家族全員で集まってみんなでご飯を食べました。日本と違ってクリスマスにケーキを食べる文化はなく、お昼を食べた後みんなでプレゼント交換をしました！私も本やシューズやハンドクリームや色々なものをもらってすごくうれしかったです♡でもクリスマス前からマーケットにたくさん行ったり街並みがクリスマス色になっていたりしたせいか、逆に当日はクリスマス感があまりありませんでした（笑）。



## ★年末年始の祝日★

イタリアではクリスマスも年越しの瞬間もシャンパンをあける文化があります、シャンパンのコルクがあく音がしたらみんな「Auguri!(最高の願いを!)」と叫ぶのがお決まり！大みそかはイタリア版紅白をみて、年越しの瞬間はシャンパンをあけると同時に花火が始まり、静寂の「せ」の字もない2025年の始まりでした。

母が11月に筆ペンを送ってくれたので、それで書き初めをしました！ホストファミリー一人ひとりの目標がばらばらで面白かったです（笑）。

元旦はまた家族で集まって新年のあいさつをした後、少しドライブしてPresepe Viventeを見に行きました。（先月号に書きました）プレゼーベを実際に人が再現しているというもので、本当に昔のローマの世界に入ったような気分でした！そしてなぜか私の住んでいるウンブリア州の州知事を偶然見かけることができました！いい新年のスタートでした！

1/6 はイタリア独自の祝日 BEFANA の日です！お世辞にも綺麗とは言えない姿のご年配の魔女が、その一年いい子にしていた子には靴下の中に甘いお菓子を、悪い子には炭を入れるというなんとも不思議な言い伝えがあります。私のもとにはチョコレートが届きました♡夕方はペルージャの中心のほうへ実際に魔女を見に行きました！



### ★Grosseto での三日間★

AFS が開催したイベントで Grosseto という町に行ってきました。AFSのおかげで、様々な街に行くことができ本当に楽しいです！前回と同様に近くに住む留学生たちと一緒に、6時間の長旅を経て、到着しました。

この町は内陸に位置するペルージャと違って海に近い町で、夕焼けと海の合わさった景色がすごくきれいでした！Arezzo の時と同様にその町の学校の生徒と交流する機会があり、今回の学校は本格的な料理やレストランなどの接客に特化した学校です。

一日目は移動日で、着いてすぐみんなで晩御飯を食べました。今回のホストファミリーもすごく優しい方々で、一緒に晩御飯を食べたホストファミリーの親戚の中に日本語が本当に上手な方がいて、この留学期間で一番驚きました！

二日目は、学校に向かって生徒の皆とゲームなどをし、それぞれの国の料理レシピを発表しあいました。その後、植物園に行ったり海に行ったりしました。グロッセートの中心街はペルージャとまた雰囲気が違って、海が近いせいなのか、少しトロピカルな感じがしました。（私の感性ですが。）

最終日は、グロッセートの歴史的な建物を巡った後、学校に戻って用意された様々な国の料理をみんなで味わいました！早すぎる別れでしたが楽しい思い出を作ることができて本当に幸せでした。



一番右の写真のマフラーはさっき書いた日本語がすごく上手な、ホストファミリーの叔母さんがイタリアに来た記念だといってプレゼントしてくださったものです、本当にうれしくてたくさんありがとうと伝えました！私もこんな人になりたいと思ったと同時に、他国の人から「日本人って素敵だな」と思われるような留学生でいたいと思いました。

### ★2学期スタート★

約二週間の冬休みが終わって、再び学校が始まりました！相変わらずイタリアの朝は寒いですが、これを書いている今日は土曜日で、今週はテストや口頭試験が本当にたくさんあったので、なかなかハードでした。具体的なスケジュールを言うと、月曜日：数学の試験、火曜日：歴史の試験、水曜日：イタリア語レッスンの試験、木曜日：生物のテスト（月曜日に延期になりました！！）、金曜日：宗教の試験&Diritto（公民のような教科）という怒涛の一週間です。ほかの生徒のようにイタリア語で流暢に先生の質問に答えることがまだできないという理由で、私が受けていない試験もあるので他のクラスメイトはもっともっと大変だと思います。

イタリアでは筆記の試験とおなじくらい、口頭試験も重要視されています。日本では英語の授業くらいでしかスピーキングの試験を見たことがありませんが、イタリアの学校では逆に英語の授業ではなく、地理や歴史の授業で多くみられます。

そういえばテスト返却の雰囲気も日本と全く違います。満点はテストによってバラバラですが、毎テストで10段階の評価が付き、私の学校の場合は、宿題やお知らせが確認できる学校のアプリで成績がリアルタイムで確認できます。まず返却は先生が一人の生徒に全員分の答案用紙を返して、その子が配ります。そのあと自分の成績を確認し、先生が一人ひとりの名前を呼んで成績を入力することもあれば、既に入力されている場合はみんなで成績を発表しあいます。私のクラスだけですね（笑）。また採点ミス等を確認し終わった後はテストを先生に再返却するため、見直し、やり直しをするという概念はあまりありません。テスト中の雰囲気も日本よりだいぶ柔らかいですが、これは多分テストの数が日本より多く、重さが違うからですね！

★一月のその他の写真★



★今月の心の俳句★

あの町で 見つけてしまった 体重計 いつだって君は 空気が読めない

こんなところで今回は終わろうと思います、一月はこれまでの五か月の中で、一番思い出が多い気がします、ホストファミリーといろいろなところに行ったり、友達とたくさん遊んだりもしました！いろいろな瞬間を写真に残せたので、帰国後もたくさん見返そうと思います。気づけばイタリアに来てから約5か月が経ち、残り半分になりました。早いと言われれば早いですが、本当にいろんなことをしたなあと振り返って思います。残り5か月は、この5か月で学んだことを生かしつつ、すべての瞬間を楽しめるような人でいたいと思います。あらためて、今年もよろしくお願いします！

16 期渡邊